

# とんぐり村の こみ・すく通信

令和3年7月12日発行 第7号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## みんなの学校応援団の活動を紹介<その4>

### ふるさとの良さを実感する 地元で魚釣り、炊飯、魚焼き

6月25日、更別中央中学校の1年生が遠足でファミリーパークさらべつを訪れ魚釣り体験をしました。

例年、村外に出て炊飯体験をしていたのですが、子どもたちが地域に目を向けられるようにと選んだ場所でした。

予定では、ファミリーパークで魚釣り、とんぐり公園プラムハウスの協力を得て、まきを使って飯ごう炊飯、魚焼きでしたが、緊急事態宣言を受け、プラムハウスを活用することはできませんでした。



釣れた!

15cmほどのヤマメを中心に、平均して1人1匹以上釣れました。



貴重な経験になりました。

## 「牛ってすごいでしょ!」 地域の酪農家から学ぶ

6月25日、上更別小学校の3、4年生が協和区で酪農を営んでいる家常直輝さんに「牛と牛乳」についての講話をしていただきました。



祖父の時代に入植し、私は三代目です。

講話の始めに、子牛が生まれる貴重な場面のビデオを見せていただきました。生まれた子牛は30分から1時間で立てるようになり、22か月~24か月で大人の牛になること、牛乳からできる食べ物、どんなえさを食べるか、水はどれくらい飲むのか、牛乳はどれくらい出すのか等、子どもたちから考えを出させたり発表させたりしながら、たくさんのことを教えてくださいました。

家常さんの講話のところで出てくる「牛ってすごいでしょ!」という言葉から、牛に愛情をもって接していることが伝わってきました。

## 更小、上更小3年生 保護者から「農業」を学ぶ

小学3年生になると初めて「社会科」を勉強します。その中で「農家の仕事」という単元があり、更別村の自然を生かした畑作や酪農の仕事について学びます。

畑作の仕事では、両小学校とも保護者の農場を訪問。農業機械等を見学し、説明もしていただきました。更別村で進められている大規模農業を肌で感じることができました。感謝です。

### 更別小3年生 6月25日、29日



安村さんに来校いただき畑作についてお話をお聞きしました。

後日、子どもたちが安村農場を訪問し、畑起こしから除草、防除、

収穫の機械などたくさんの農機具を見学、分かり易く説明していただきました。

### 上更別小3年 6月30日



子どもたちが小谷農場を訪問。小谷さんと阪本さんが対応してくれました。農業についての質問に答えていただいたり、収穫用の超大型農業機械

等を見学させていただいたりしました。